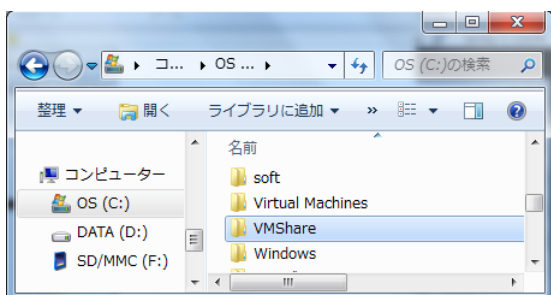


## VMware Player と Windows とのファイルの受け渡し

### 1. 考え方

- ① 一方の OS 側から FTP によるアクセス、あるいは Samba、rcp などホスト間のファイル授受のコマンドを利用する方法が一般的である。
- ② VMware の最近のバージョンからは、共有フォルダ機能が提供され、容易に OS 間のファイルの受け渡しが可能となった。

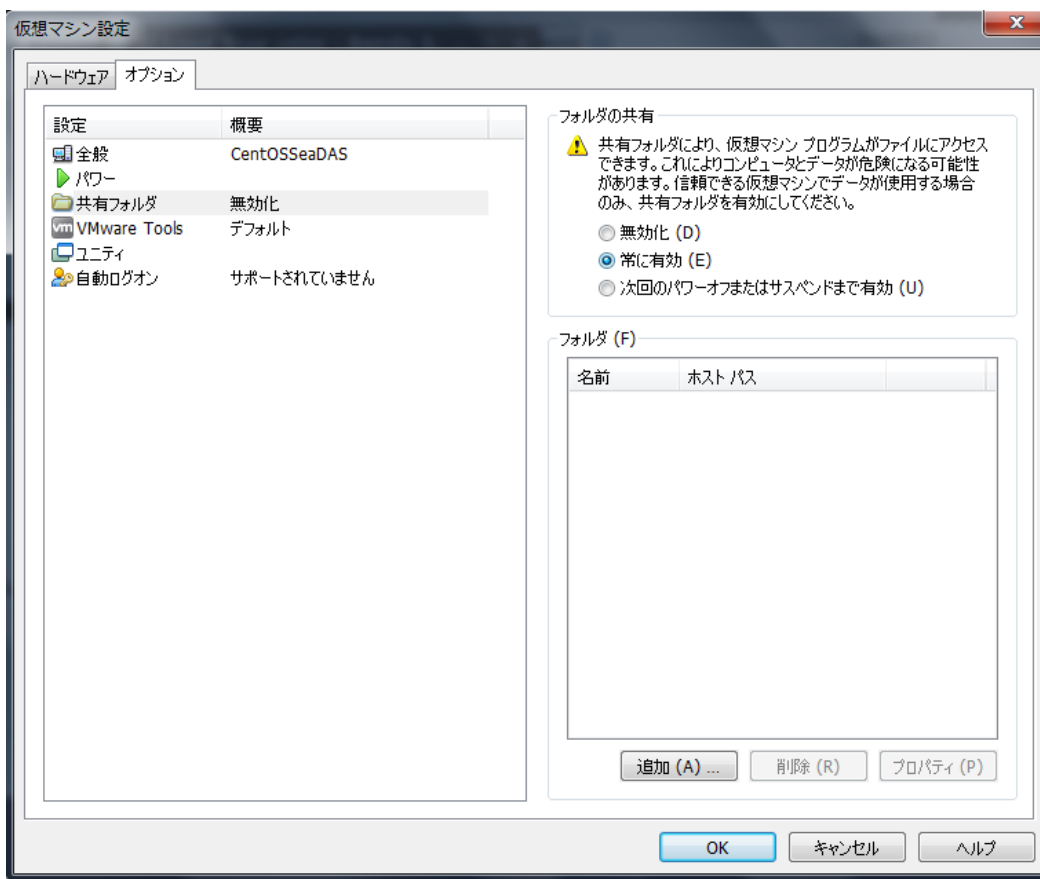
### 2. Windows 側の作業



ファイルを共有するフォルダを用意する。

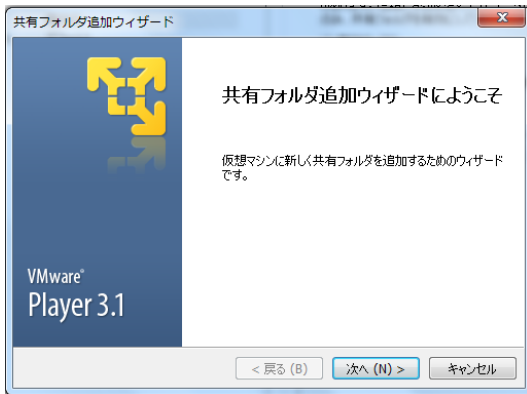
→D:ドライブの「TEMP」に「VMShare」を作る。

### 3. VMware Player 側の作業



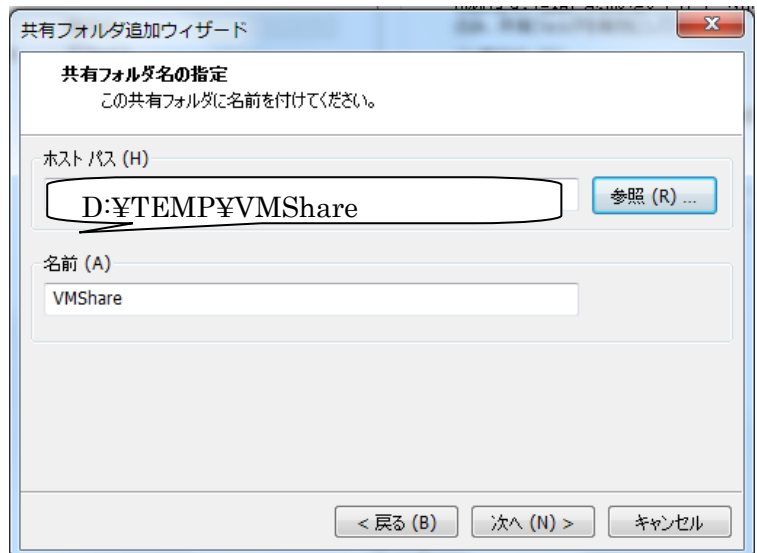
- ① 共有フォルダの設定  
VMware Player の「仮想マシン」→「仮想マシン設定」を選択する。さらに、「オプション」から、「共有フォルダ」を選択し、**危険を承知の上で**、フォルダの共有から「常に有効」を選択する。

## ② フォルダの追加

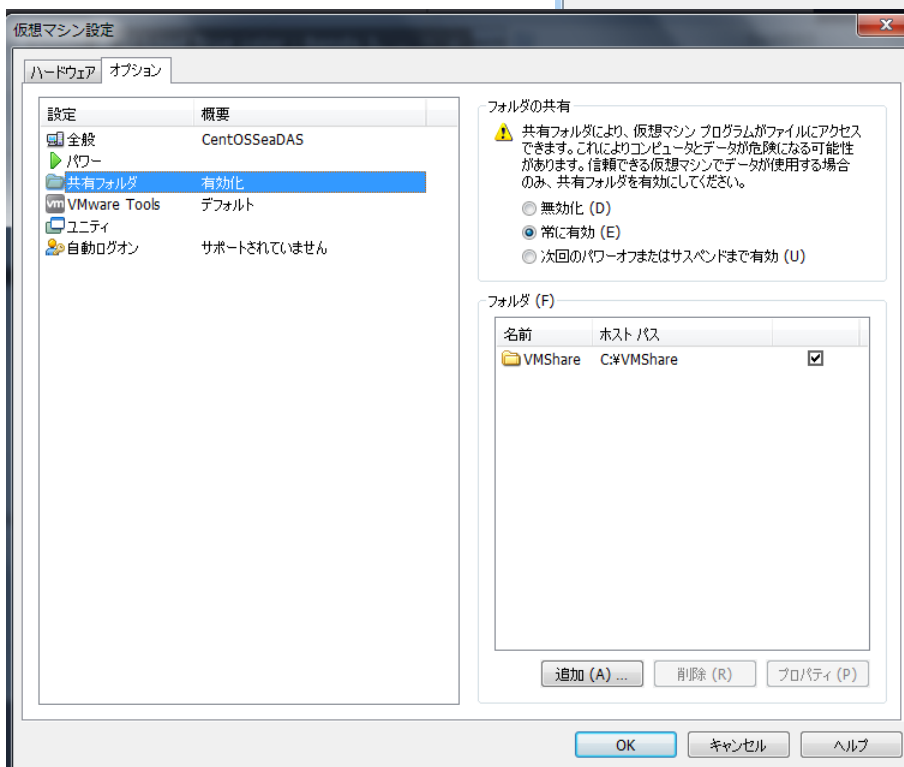
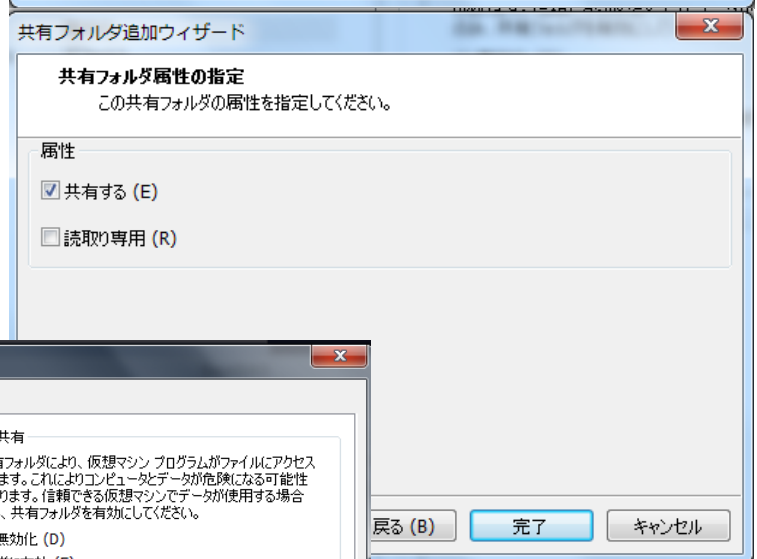


前項の共有フォルダのウインドウから「追加」をクリックすると、左のように共有フォルダ追加ウィザードのウインドウが表示される。

「ホストパス」として、  
「D:¥TEMP¥VMShare」を「参照」アイコンを利用して設定する。



次に、共有フォルダの属性として、「共有する」を選択する。



仮想マシン設定ウインドウに共有フォルダが表示される。

VMware Player では、

**/mnt/hgfs/VMShare**

として認識される。